



広報 皆さんと村を結ぶ架け橋

しむかっぷ。

9

2026
No.825

ゆっくりと流れる、至福のひととき
— Afternoon Tea —

TOPICS

- ▶ 第40回 広島平和体験学習報告
- ▶ 第52回 占冠村ふるさと祭り
- ▶ 苫鷲神社祭典 トマム夏祭り



昭和60年3月に平和の村宣言を採択して以降、「占冠村教育を語る住民会議」が中心となり、ヒロシマ・ナガサキの惨劇を絶対に繰り返さず核も戦争もない平和な社会を願い、村内の中学生を広島県に派遣する「広島平和体験学習事業」を行っています。

今回は生徒2人・引率1人が参加しました。ヒロシマの地から学んだことや感じたことを報告していただきます。

立入禁止
監視カメラ作動中
広島市

第40回 広島平和体験学習報告

昭和60年3月に平和の村宣言を採択して以降、「占冠村教育を語る住民会議」が中心となり、ヒロシマ・ナガサキの惨劇を絶対に繰り返さず核も戦争もない平和な社会を願い、村内の中学生を広島県に派遣する「広島平和体験学習事業」を行っています。

今回は生徒2人・引率1人が参加しました。ヒロシマの地から学んだことや感じたことを報告していただきます。

立入禁止
監視カメラ作動中
広島市

第40回 広島平和体験学習報告

私は今回、4日間広島へ行きました。そこで原爆ドームなどの被爆建物や資料館を訪れ、たくさんの方のことを学んできました。

まず2日目に原爆ドームを見ました。原爆ドームは爆心地から160mしか離れていません。そのことにも関わらず、現存している事実に残っているという兵器が恐ろしいものだということを感じました。次に広島平和記念資料館へ行きました。それぞれ展示物を見ていくと、原爆の被害を受けて皮膚が垂れ下がってしまった人、周りの建物のほとんどが全壊した写真、亡くなった方の遺品などを見て、予想以上の状況に衝撃を受けました。また、被爆体験者の講話では、原爆の放射線による後遺症などで苦しんでいる人が今でもいると教えていただきました。

3日目に被爆建物めぐりをしました。その中で特に衝撃を受けた建物は袋町小

私は今回、4日間広島へ行きました。そこで原爆ドームなどの被爆建物や資料館を訪れ、たくさんの方のことを学んできました。

まず2日目に原爆ドームを見ました。原爆ドームは爆心地から160mしか離れていません。そのことにも関わらず、現存している事実に残っているという兵器が恐ろしいものだということを感じました。次に広島平和記念資料館へ行きました。それぞれ展示物を見ていくと、原爆の被害を受けて皮膚が垂れ下がってしまった人、周りの建物のほとんどが全壊した写真、亡くなった方の遺品などを見て、予想以上の状況に衝撃を受けました。また、被爆体験者の講話では、原爆の放射線による後遺症などで苦しんでいる人が今でもいると教えていただきました。

3日目に被爆建物めぐりをしました。その中で特に衝撃を受けた建物は袋町小

私は今回、4日間広島へ行きました。そこで原爆ドームなどの被爆建物や資料館を訪れ、たくさんの方のことを学んできました。

まず2日目に原爆ドームを見ました。原爆ドームは爆心地から160mしか離れていません。そのことにも関わらず、現存している事実に残っているという兵器が恐ろしいものだということを感じました。次に広島平和記念資料館へ行きました。それぞれ展示物を見ていくと、原爆の被害を受けて皮膚が垂れ下がってしまった人、周りの建物のほとんどが全壊した写真、亡くなった方の遺品などを見て、予想以上の状況に衝撃を受けました。また、被爆体験者の講話では、原爆の放射線による後遺症などで苦しんでいる人が今でもいると教えていただきました。

3日目に被爆建物めぐりをしました。その中で特に衝撃を受けた建物は袋町小

浦田 香純

浦田 香純

語り手による講演を行うなどの取り組みをしています。

私たちも実際に被ばく建物めぐりに行き、被ばくした当時の建物がのこされているところや、その一部を展示してあるところを案内していただきました。

自分たちも、支援団体への募金や、平和を守るための署名をするなどの取り組みに参加することができます。

また、現在は戦争を知らない世代の増加により、原爆の風化が懸念されています。そのため、まずは原爆の歴史や世界の現状を学ぶことも大切だと考えました。

語り手による講演を行うなどの取り組みをしています。

私たちも実際に被ばく建物めぐりに行き、被ばくした当時の建物がのこされているところや、その一部を展示してあるところを案内していただきました。

自分たちも、支援団体への募金や、平和を守るための署名をするなどの取り組みに参加することができます。

また、現在は戦争を知らない世代の増加により、原爆の風化が懸念されています。そのため、まずは原爆の歴史や世界の現状を学ぶことも大切だと考えました。

語り手による講演を行うなどの取り組みをしています。

私たちも実際に被ばく建物めぐりに行き、被ばくした当時の建物がのこされているところや、その一部を展示してあるところを案内していただきました。

自分たちも、支援団体への募金や、平和を守るための署名をするなどの取り組みに参加することができます。

また、現在は戦争を知らない世代の増加により、原爆の風化が懸念されています。そのため、まずは原爆の歴史や世界の現状を学ぶことも大切だと考えました。

長瀬 桃果

長瀬 桃果

長瀬 桃果

長瀬 桃果



8/11(火)



一日こども食堂かえで

子どもの居場所づくりを目的とした自主創造プログラム事業として、小中学生を対象に一日限定の子ども食堂が開かれました。当日は9人の子どもが参加し、栄養士監修によるバランスのとれた和食を提供。高校生を含む12人のボランティアスタッフが、食事の提供や会話、遊びを通じて子どもたちと交流しました。あわせてフードバンクによる食品配布も行いました。

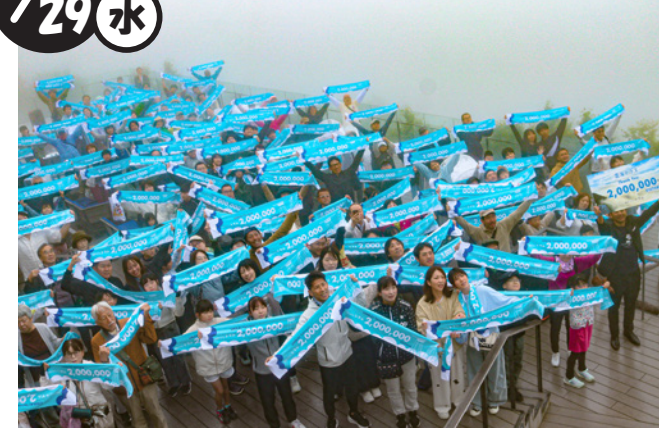
8/6(木)



平和を考える映画会

占冠村コミュニティプラザで、占冠村教育を語る住民会議主催の「平和を考える映画会」が開催されました。映画鑑賞の前段には、第40回広島平和体験学習の参加者から「ヒロシマの地」で経験したことについて発表があり、出席した約40人が耳を傾けました。その後アニメ映画「お母さんの木」の鑑賞を通じて平和について考えました。

7/29(水)



雲海テラス200万人達成記念セレモニー&とうきびアフタヌーンティー

星野リゾート トマムの「雲海テラス」で、累計来場者数200万人突破を記念したセレモニーが開催されました。参加者たちが記念タオルを広げ、テラスを背景に記念撮影を行い、節目を祝いました。せせらぎデッキでは、日帰りでも楽しめる「とうきびアフタヌーンティー」を提供。全9種にとうきびを使った彩り豊かなメニューが並びました。9月以降も季節ごとの新たなメニューが登場予定です。



8/20(木)



納涼盆踊り大会

占冠村コミュニティプラザで連合北海道占冠地区連合会主催の「納涼盆踊り大会」が開催され、多くの村民や近隣市町からも踊り手が集いました。参加した子どもにお菓子がもらえる「子ども盆踊り」、自慢の仮装と踊りを競い合う「懸賞盆踊り大会」とともに大いに盛り上がり、終始笑顔と活気にあふれた盆踊り大会は盛況のうちに幕を閉じました。

8/11(火)



夕市 野菜マルシェ

占冠村コミュニティプラザ横で、農業経営研究会主催の夕市が開催されました。5店舗が出店し、朝採れの新鮮な農産物や色とりどりの花鉢が会場に彩りを添えました。あいにくの雨模様となりましたが、訪れた人たちは弾む会話とともに旬の味覚を買い求めていました。

8/5(水)



反核平和の火リレー

「第38回反核平和の火リレー」がトマム地区から占冠村総合センター前までの区間で実施されました。この取り組みは、核も戦争もない平和な社会の実現を訴えながら、平和の火をランナー同士で走りつなぐものです。村内の青年女性や子どもたちに加え、広島平和体験学習に参加した中学生もランナーとして走り、平和への思いや願いを地域に届けました。

7/29(水)



とま～る夏祭り

占冠村小規模多機能型居宅介護施設「とま～る」で恒例の夏祭りが開催されました。地域の子もたくさん訪れ、射的やスマートボール、スーパーボールすくいのほか、利用者の皆さんと一緒にゲームをして交流を楽しんでいました。お祭りは終始にぎやかな雰囲気にもまれ、地域の強いつながりを感じることができました。



第52回占冠村ふるさと祭りが、8月1日（土）、8月2日（日）の2日間にわたり開催されました。今年も多くの来場者でにぎわい、占冠和牛をはじめとするご当地グルメや多彩なステージショーなど、「おいしさ」「楽しさ」にあふれた2日間となりました。

前夜祭は、南富良野町のダンスチーム「grad kids」、占冠村のダンスチーム「Luminous」による元気いっぱいダンスでスタート。続いて、フラダンスサークル「レイアロハ」、伝統芸能「占冠神楽」が華やかに舞台を盛り上げました。お楽しみ抽選会では、豪華景品を手にした当選者の喜ぶ姿が見られ、最後は迫力満点の打ち上げ花火で幕を閉じました。

本祭では、占冠村のご当地キャラクター「しむかっぴー」や近隣ご当地キャラも集合し、来場者と占冠音頭や記念撮影を楽しんでいました。ステージでは、マジシャンの「やまちゃん」、バルーンパフォーマーの「シオリヌ」、シンガー「永山ユカリ」、ギタリスト「曾山良一」らによるパフォーマンスで会場は大いに盛り上がり、笑顔と拍手にあふれた夏の思い出となりました。





生涯学習の窓

教育・文化・スポーツのホットな情報をお届けします
 教育委員会社会教育担当 ☎ 56-2183

水泳教室で大成長!

7月26日から28日にかけて、スポーツ推進委員等の指導者が中心となり、村内2カ所の水泳プール（中央・トマム）で水泳教室を行いました。ビート板を使った泳ぎや水に潜るなど、水や泳ぎに慣れるための基礎的な練習から、クロール・背泳ぎなどの泳法まで、さまざまな練習に取り組みました。記録会では自己ベストを更新した子や距離を伸ばした子など、子どもたちそれぞれが成果を出していました。



生活につながる講座で暮らしを豊かに

7月23日に、清流大学で「収納講座」と「健康講座」を行いました。

「収納講座」では、「物が多くてどうして良いのかわからない」「きれいに整理整頓する方法が知りたい」といった日ごろの悩みを解決し、誰でも簡単に実践できる片づけのコツを話してもらいました。

「健康講座」では、介護保険の申請から認定までの流れ、サービスの種類など、複雑な内容ではありましたが、身近な例を交えながら分かりやすく解説してもらいました。

どちらの講座もこれからの生活に役立つ内容で、大学生も新たな知識を身に付けることができました。



絵本をご提供いただきました!

ふるさと祭り本祭のステージショーで、鮮やかなマジックの数々を披露し、観客を笑いど驚きで沸かせたマジシャンの「やまちゃん」。このたび、やまちゃんから絵本「みどりのようせい やまちゃん」を村内2カ所の図書室（中央・トマム）へ寄贈いただきました。ステージで多くの人を楽しませてくれた「やまちゃん」の一冊を、ぜひお手にとってご覧ください。



古鶴神社祭典 トマム夏祭り

7月31日から8月1日までの2日間、トマム地区の夏祭りが、宵祭・本祭の2日間にわたって開催されました。
 宵祭では、町内会やキッズクラブによる出店が並び、余興のコーラ早飲み競争や豪華景品が当たるビンゴゲーム、至近距離で打ち上がる花火にと楽しい企画がめじろ押しでした。
 本祭では、恒例となつている子ども神輿が元氣な掛け声とともに地域を練り歩きました。神社の前ではスイカ割りも行われました。



健康診査の結果の活用

健診結果は
いかがでしたか？

結果は、普段の生活の表れです。健診は受けっ放しにせず、結果をきちんと活用することが大事です。



健診が終わったら・・・

- ステップ 1 きちんと健診結果に目を通しましょう
以前と比べて変化した数値はありませんか？
結果説明の場があれば、積極的に受けましょう
- ステップ 2 「要精密検査」「要医療」「要治療」と言われたら、
まずは、かかりつけ医に相談しましょう
- ステップ 3 結果に応じて、市町村が実施している健康相談、
保健指導、通いの場などをうまく活用しましょう
- ステップ 4 生活習慣を振り返り、見直せるところはトライ
- ステップ 5 また来年の健診で健康状態を確かめましょう

問 北海道後期高齢者医療広域連合 ☎ 011 - 290 - 5601 住民課後期高齢者医療担当 ☎ 56 - 2122

コミュニティ助成事業で備品を整備

一般財団法人自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源としたコミュニティ助成事業を実施しています。

この事業は、コミュニティ活動に必要な備品の整備などに対して助成を行い、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを趣旨としたものです。

このたび、この宝くじの助成金で宮下行政区がテント、テーブル、イス、発電機、収納用物置などを整備しました。地域のコミュニティ活動の充実が期待されます。



問 総務課総務担当 ☎ 56 - 2121

ミナ・トマムの薪を準備しました！



昨年秋、トマム地区に吹き荒れた強風により、立木が倒れる被害が発生しました。この倒木をミナ・トマムの薪ストーブの熱源として利用するため、トマム町内会の有志の皆さんにより薪割りや薪の搬入作業がボランティアで行われました。

ミナ・トマムはトマム町内会が運営しており、買い物支援や交流の場の創出、サークル活動の場など、地域の皆さんにとって様々な役割を担っています。町内会の皆さんは、「有志の皆さんが準備した薪で、厳しい冬を温かく過ごせそうです。今後もトマム町内会として環境にやさしい暮らしに少しでも協力していきたい」と笑顔で話していました。

問 トマム支所 ☎ 57 - 2160

札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部との 包括的連携協定を締結

8月20日、占冠村と札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部は、多文化共生や地域活性化など6項目で協力する「包括的連携協定」を締結しました。

本村は、外国人住民の比率が全国でも高い自治体であり、外国人住民との共生や地域づくりを重要なテーマとして捉えています。近年、北海道内でも「外国につながる子どもや家庭への支援」の必要性が高まっており、今回の協定は、「子ども・子育て支援及び多文化共生」をはじめとする地域課題の解決に共に取り組むためのものです。



◆協定のきっかけ

2024年、本村の外国人労働者の現状に関する実態調査（研究代表者：札幌国際大学人文学部教授 小内透氏）が行われました。その結果、外国人労働者が地域社会や産業を支える重要な存在である一方、生活支援や地域共生に関する課題も明らかになりました。この研究成果を踏まえ、本村と札幌国際大学・札幌国際大学短期大学部は継続的に連携していくこととしました。

◆主な連携内容

- (1) 子ども・子育て支援及び多文化共生に関すること
- (2) 地域活性化に関すること
- (3) 地域支援に関すること
- (4) 地域人材の育成に関すること
- (5) 産業・学術・文化の振興に関すること
- (6) その他、双方が必要と認めること

◆当面の取り組み

まずは、北海道内の市町村や保育園などを対象に、外国にルーツのある子どもの保育状況を調査します。村もこれに協力します。大学側は調査結果を村に還元し、村と連携して地域課題の解決を図ります。

また、村内をフィールドとした学生の学習・研究活動も進めていきます。具体的な取り組みは、今後協議しながら進めていく予定です。

問 福祉子育て支援課子育て支援室担当 ☎ 56 - 2125

北海道苦情審査委員制度のご案内

「北海道苦情審査委員」制度とは、道の機関が行った業務に関する苦情について、北海道苦情審査委員が公平で中立な立場から審査する制度です。

審査の結果、道の業務に不備な点や制度に問題があるときは、道の機関に是正や改善を求めます。

【苦情の申し立て方法】

「苦情申立書」を窓口へ持参するほか、窓口へ郵送、FAXやメールで送付する方法があります。
※匿名での申し立てや、電話での申し立ては受け付けておりません。

【窓口】

○北海道総合政策部知事室 道政相談センター

〒060 - 8588 札幌市中央区北3条西6丁目
☎ 011 - 204 - 5523 (直通) FAX 011 - 241 - 8181
メール kujyou.koueki@pref.hokkaido.lg.jp

○上川総合振興局総務課

〒079 - 8610 旭川市永山6条19丁目
☎ 0166 - 46 - 5901 (直通) FAX 0166 - 46 - 5201

◎詳細は、北海道のホームページでご確認ください。

苦情の申立て方法 北海道

検索



映画「どうすればよかったか？」 上映会のお知らせ

精神疾患は、誰にでも起こりうる身近な病気です。この映画は、藤野知明監督による、実話を通して本人や家族が直面した出来事を描いた作品です。幅広い世代の皆さんにご覧いただき、こころの病気への理解を深めるとともに、私たちにできることや地域で支え合うことについて、一緒に考えてみませんか。

日 時 令和8年9月26日(土)

13時30分～(開場13時)

会 場 富良野文化会館サンエーホール

主 催 富良野地方精神保健協会

費 用 無料

※上映時間：101分

鑑賞をご希望の方は、下記のURL、QRコードまたはお電話から事前にお申し込みください。

【URL】<https://www.harp.lg.jp/4Tgr1QbZ>



☎ 富良野保健所健康推進課

☎ 0167 - 23 - 3161

富良野調停協会からのお知らせ 「調停相談会」

日 時：令和8年9月19日(土)

10時～12時

会 場：富良野市女性センター 2階 中会議室
(富良野市若松町17番1号)

主 催：富良野調停協会

費 用：無料

※予約等は不要です。直接会場にお越しください。

水資源保全地域内の土地取引行為には 事前届出が必要です

北海道では、豊かな水資源の恵みを将来の世代においても享受できるよう、全国に先がけて「北海道水資源の保全に関する条例」を制定しています。条例に基づき指定された水資源保全地域で土地取引を行う場合は、契約締結の3カ月前までに、その土地を所管する総合振興局・振興局などに届出が必要です。



☎ 北海道総合政策部計画局土地水対策課水資源保全係
☎ 011 - 204 - 5178

北海道による熊本県への ふるさと納税代理受付を開始しました

北海道では、被災した熊本県の事務負担を軽減するため、8月5日(水)からふるさと納税の代理受付を開始しました。

代理受付は、災害対応に追われる被災自治体に代わり、代理自治体がふるさと納税の受付や寄附金受領証明書の発行、必要書類の送付などの業務を行う仕組みです。

必要経費を差し引いた全額を北海道から熊本県へ届けます。

今後の復旧・復興に向けて多くの支援が必要となることから、皆様からの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

詳細は、北海道のホームページでご確認ください。



☎ 総合政策部官民連携推進局(ふるさと納税、民間企業等との協働の推進担当)

☎ 011 - 206 - 6449

台風への備え、できていますか？

平成28年8月、北海道に次々と台風が接近・上陸し、大きな被害が発生しました。あのときの記憶が残っている方も多いのではないでしょうか。実は、北日本で大きな被害をもたらした台風の多くは、8月と9月に集中しています。



台風の被害を減らすには、日頃の備えが欠かせません。平常時にハザードマップで避難場所や経路を確認し、家族で共有しておきましょう。非常持ち出し品も、あらかじめ備えておくことが大切です。

台風接近の情報を見聞きしたら、早めに家の周りを点検しましょう。飛ばされそうな物は屋内にしまいか、しっかり固定しましょう。あわせて、側溝や排水溝の掃除もしておく安心です。停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオ、モバイルバッテリーなども使える状態にしておきましょう。

台風が近づいたときは、気象台の警報・注意報や危険度分布(キキクル)、自治体からの避難情報を確認し、必要に応じて早めの避難行動をとることが重要です。

実際に暴風になると、飛来物でけがをしたり、車が横転したりすることもあります。大雨で冠水した道路では、側溝との境目が見えにくくなり、転倒する恐れがあります。こうした中での避難は危険を伴います。だからこそ、風や雨が強まる前の安全なうちに避難を始める判断が、自分と大切な人の命を守ることにつながります。

旭川地方気象台

検索



台風情報

☎ 旭川地方気象台 ☎ 0166 - 32 - 7102

■入居資格

次の条件を満たす方が申し込むことができます。

- 占冠村にお住まいの方、村外から移住される方
- 月収が15万8,000円以下の方

(例えば、給与収入者で扶養家族がある場合、源泉徴収票の給与所得控除後の金額から同居扶養控除等の金額を引き、残りの額を12カ月で割った金額が15万8,000円以下の方)

※敷金の納入が必要です。

※連帯保証人が2人必要です。

★入居者と同等以上の収入のある方

■家賃 入居される世帯の収入等に応じて決定されます。

■入居可能日 おおむね10月1日(木)

■入居決定 入居者選考委員会の審査によります。

■申込受付場所 建設課建築担当
トマム支所

◆お問い合わせ：建設課建築担当 ☎ 56 - 2172

村営住宅等入居者募集のご案内

募集团地	受付期限 9月15日(火)			
●中央地区	5戸	●占冠地区	1戸	
○中央団地		○占冠団地		
1LDK	1戸	3LDK	1戸	
3LDK	3戸			
○川添団地				
3LDK	1戸			
○トマム夫婦世帯向け村有住宅 3LDK 1戸				
※ 夫婦世帯向け住宅は入居基準が異なります。				

運転免許更新時講習会

会場：富良野市ふれあいセンター
富良野市春日町12番5号

■優良講習(30分)

◎9月4日(金) 13時～

◎9月15日(火) 13時～

■一般講習(1時間)

◎9月4日(金) 14時～

◎9月15日(火) 14時～

■初回講習(2時間)

◎9月10日(木) 13時～

■違反講習(2時間)

◎9月16日(水) 13時～

※警察署等で更新手続きを終えていなければ、更新時講習は受講できません。

☎ 富良野警察署交通課 ☎ 22 - 0110

占冠村の放射線量の状況(8月分)

測定日 令和8年8月18日(火)

【単位：マイクロシーベルト毎時】

測定場所	測定時間	天候	測定値
中央小学校グラウンド	16時27分	曇り	0.033
双民館グラウンド	15時00分	曇り	0.040
占冠地域交流館グラウンド	16時16分	曇り	0.038
占冠保育所グラウンド	16時22分	曇り	0.035
トマム学校グラウンド	15時49分	雨	0.029
トマム保育所グラウンド	15時45分	雨	0.038

※北海道の空間放射線量率モニタリング結果(上川総合振興局 0.021～0.098)と比較して平常レベルと判断されます。

「北海道の空間放射線量率モニタリング結果」は、下記のホームページで公開されています。

『環境放射線測定結果【北海道立衛生研究所】』

<http://www.iph.pref.hokkaido.jp>

☎ 総務課総務担当 ☎ 56 - 2121



火災・救急・救助 119

消防瓦版纏

No.455

富良野広域連合富良野消防署占冠支署
56 - 2119

消火器体験と花火の安全な取り扱い

学童クラブ(中央・トマム)では、子どもたちが火災予防や安全について学ぶため、消火器の使い方体験と花火の正しい取り扱いについての活動を行いました。

消火器体験では、訓練用消火器に触れながら、火事を見つけたときの対応や消火器の使い方を学びました。「火事だ!」と周囲に知らせることの大切さや、安全を確保して行動することについても確認しました。

花火の活動では、楽しく遊ぶために守るべき約束や注意点について学びました。水の入ったバケツを用意すること、周囲の安全を確認すること、火がついた花火の扱い方など、事故を防ぐための大切なポイントを確認しました。

子どもたちは真剣な表情で消防職員の話聞き、「火の扱いには十分な注意が必要だと思いました」と力強い感想を話していました。



救急出場状況 (7月分)

急病	8件(7人)
交通事故	8件(3人)
一般負傷	3件(3人)
医師搬送	1件

7月計 20件(13人)
累計 167件(150人)
※()内は傷病者搬送人員



野生動物対策の状況

農林課林業振興室
野生鳥獣専門員
56 - 2174



エゾシカ

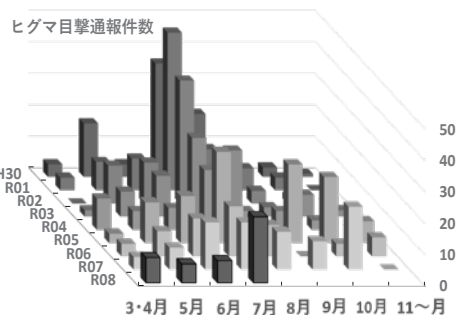
7月の駆除捕獲頭数は40頭でした。過去年同月と比較しやや低く推移しました。



ヒグマ

8月に入り、村内のヒグマ活動情報は少なく、静かな状況が続いていますが、下トマムの石勝線沿いでは7月中旬から8月13日現在まで目撃や列車との衝突が断続的に発生しており、注視しています。

例年7月は目撃情報件数が最も多くなる時期で、今年も件数は増加しましたが、村内のヒグマの動きとしてはここ数年同様静かに過ぎました。



その他

占冠村では11年前に鳥獣被害対策を目的にドローンを導入し、目視での被害状況確認が難しいデントコーン圃場の空撮などによる調査に活用してきました。また、台風災害状況の確認など別分野の業務でも活躍してきました。

ここ数年のドローンの進歩は目覚ましく、より長時間の飛行や熱赤外線撮影など、新たな機能、性能の製品が世に出た一方、村のドローンは経年劣化も進んでおり、業務の継続と発展のために、そろそろ新たな機体を取得できるよう調整に着手しています。

また、複雑になる法規制や高性能化する機体の運用を鑑み、技能や知識を有する操縦員の確保のため、村の野生鳥獣調査員が資格取得に向けた研修を受けています。



ドローン空撮(ヒグマ食害跡)



地域とともに

コミュニティ・スクール情報

～占冠中学校～

教育委員会学校教育担当 56 - 2182

〇占冠メープル工房訪問 ～占冠村の特産物を知る～

6月に、1年生が学年行事である遠足で「占冠メープル工房」を訪問しました。合同会社COYAの田中様より、メープルシロップや樹液飲料水の生産工程について実際の機材を操作しながら詳しく説明していただきました。メープルシロップの希少性や飲料水開発の独創性、占冠村の豊かな森林資源を活かした取組を身近に感じ、学ぶことができました。生徒は「メープルシロップの作り方や出てくる水を使って飲み物を作るのはすごいと思った」などの感想を述べていました。



〇探究的な学習 ～ふるさとを見つめる～

総合的な学習の時間では「SDGsの視点から考える占冠村」をテーマとした探究活動を行っています。この活動は、子どもの興味や関心に基づく学びを充実させることが狙いの一つとなっています。今年度からは小学校での総合学習(ふるさと教育)を踏まえ、学年別に探究の大枠を設定し、3年間を通して段階的に学べる体制を整えました。

1年生	「占冠村の魅力と抱える課題とは何か」
2年生	「課題解決のために私たちができること」
3年生	「私たちの理想をかたちに」

上記の大枠を踏まえ、各自が課題を設定し、解決に向けて調査やまとめ活動に取り組んでいます。調査では、地域の方々へのアンケートへのご協力や専門家の方々から貴重なご助言を頂きました。まとめ活動も終盤を迎え、小中合同文化発表会に向けての発表準備を進めています。



こちら駐在所です

占冠駐在所
56 - 2110

秋のヒグマによる人身被害の防止 ～ヒグマとの事故を防ぐために～

〇複数で行動し、音で存在を知らせましょう

野山には1人で入らず、複数で行動するようにしましょう。

入山するときは、熊鈴やラジオ等を持って、会話しながら、人の存在を知らせましょう。

〇ヒグマの出没情報等に気を付けましょう

薄暗いときの行動は避け、野山に入る前には新聞やテレビなどでヒグマの出没情報等を確認しましょう。

〇ゴミは放置せず、持ち帰りましょう

ヒグマは、いったんゴミの味を覚えると、それを目当てにゴミ捨て場などに繰り返し出没するようになります。

ゴミを野外に放置したり、埋めたりしないようにしましょう。

〇フンや足跡、食べた跡を見つけたら、すぐに引き返しましょう

ヒグマのフンや足跡、草や木などが食いちぎられた跡などを見つけたときは、すぐに引き返しましょう。

〇落ち着いて行動しましょう

万が一ヒグマに遭遇した場合は、落ち着いて行動しましょう。逃げたり、騒いだり、慌てて行動すると、かえってヒグマを興奮させ襲われる危険があります。リュックや持ち物の回収はせず、ゆっくりと静かに立ち去りましょう。

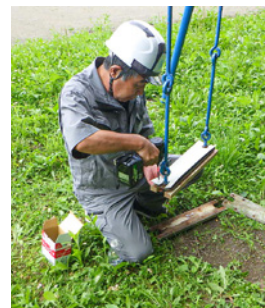
〇熊撃退スプレーや熊鈴を携帯しましょう

野山に入る際は、万が一ヒグマに遭遇した場合に備え、熊撃退スプレーや熊鈴を携帯しましょう。



地域貢献に感謝を

株式会社川端組(馬瀬戸祐則 代表取締役)が地域貢献事業として、中央小学校のブランコ修繕作業を実施しました。座板にはエンジュの木を使用し、資材は株式会社森総から提供いただきました。地域社会への貢献にご尽力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。



トマム学童保育で俳句教室

8月10日と17日の2回にわたり、日高町在住の遠藤孝明氏(アカシア句会苫小牧支部副主席)を講師に招き、学童保育で俳句教室を開催しました。

1回目は、「5・7・5(合計17音)であること」「季語を1つ入れること」「五感(見る・聞く・触る・嗅ぐ・味わう)を意識しながら考えること」といった俳句の基本を学び、決められた季語に沿って句を作りました。2回目は、それぞれが自由な発想で作った句を持ち寄り、より良い作品になるよう講師からアドバイスを受けました。

トマム学童保育に在籍する子どもの約半数は外国籍ですが、日本の伝統的な定型詩である俳句に、積極的に取り組んでいました。

今回の俳句教室は、俳句を学ぶだけでなく、国際交流・世代間交流・地域間交流にもつながる機会となりました。初めての開催でしたが、子どもたちの自由な発想や豊かな表現に、講師も感心していました。



〈子どもたちの主な作品〉

「雪の中 白いじゅうたん 庭の前」

「てのひらに ひらりととどく もみじかな」

「みかづきが わたしのために ひかっている」

「おつきさま ぽっかりうかぶ きれいだな」

「あざやかな はまなす 香る ピンク色」

「ヨナグニ島 ヨナグニサンの 糞たくさん」

「ラフティング 川の流れてに のっていく」

ウィックラマ サユニ

アパレケ イエハンサ

伊藤 瑛美

アパレケ ヴィダンサ

伊藤 美羽

矢野 この景

ラナ エース

広報からのお知らせ
各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただきます。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか担当までご連絡ください。広報紙に関する情報・意見・要望もお待ちしております。

義援金へのご協力に感謝

ふるさと祭りの会場で、令和8年熊本地震の義援金を募りました。会場を訪れた多くの皆さまから温かいご協力をいただき、たくさんの善意をお寄せいただきました。心より感謝申し上げます。

義援金総額 45,808円



■人口・世帯数(7月末住民基本台帳登録数)

人口 男 女 世帯数
1,341人(+13) 694人(+15) 647人(-2) 970(+14)

《うち外国人の人数 383人》

中 央	占 冠	双珠別	トマム	出 生	死 亡	転 入	転 出
586人	65人	37人	653人	0人	1人	37人	22人



広報しむかわっぱは、震災復興型カーボンオフセット用紙を使用し、CO₂削減事業ならびに東北経済復興を応援しています。

発行/占冠村 編集/企画商工課 印刷/(株)総北海

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 ☎0167-56-2124 FAX 0167-56-2184

占冠村ではホームページを開設しています。アドレス<https://www.vill.shimukappu.lg.jp>